

# 空港、交流、希望 創造都市成田

## 成田市新総合計画、基本構想決まる

市では現在、平成18年度を計画の初年度とする新総合計画の策定作業を行っていま  
す。総合計画は将来のまちづくりの目標を掲げ、市の今後の進むべき方向性を具体的に  
に示す計画で、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三つで構成されます。このた  
び、「基本構想」が決まりましたのでお知らせします。「基本構想」は、本市のまちづ  
くりの基本理念、将来都市像、施策の大綱などを示したもので、目標年度は10年後の  
平成27年度です。

### 成田市基本構想 (平成18年度～平成27年度)

#### 基本理念と将来都市像

##### 1 基本理念とテーマ

わたしたちは、成田市の歴史と文化に学び、長年にわたりこのまちを愛し、このまちを築き上げてきた市民一人ひとりの情熱と努力を礎として、新たな成田の創造に向けて、「市民が主役のまちづくり」を基本理念とします。  
また、この基本理念の実践により、将来都市像の実現を目指すテーマとして、次のテーマを掲げます。

空港、交流、希望  
創造都市成田

##### 2 将来都市像

～三つの視点で描く～

成田の未来、

「空港、交流、希望 創造都市成田」を実現するために、地域資源の活用、豊かな市民生活の追求、多面的な環境の整備という視点に基づいて、次の三つの将来都市像を掲げます。  
なお、人口を平成27年(2015年)に15万人と想定します。

個性かがやく交流都市  
～地域資源を最大限に活用し、成田にしかできないまちづくりをめざす～  
世界にひらける成田国際空港と

歴史と伝統ある成田山新勝寺、宗吾堂、滑河観音、大慈恩寺に代表される本市固有の地域資源の融合と活用により、活力にあふれ魅力ある「個性かがやく交流都市」を目指します。

#### 夢はくくむ共感都市

～市民一人ひとりが夢と誇りを  
持ち、市民が一体となった  
まちづくりをめざす～  
地域の特色を活かした生活環境の整備を推進するとともに、北総の中心都市に相応しい都市機能の充実を図り、市民と行政の協働のもと「夢はくくむ共感都市」を目指します。

#### 緑つるおつ環境都市

～地球環境を見つめ、  
環境にやさしい  
まちづくりをめざす～  
市民の環境意識の高まりを推進力として、本市の豊かな自然と地域環境を守り育てるとともに、環境への負荷の少ない持続可能な「循環型社会」の構築を図り、緑つるおつ環境都市「を」目指します。

#### 将来都市像実現に向けた 基本方向(施策の大綱)

##### 施策の基本方向

1 世界との交流拠点として市民が誇れる都市をつくる

(都市基盤・都市環境)  
基本目標 1 成田に集まり世界とつながる交流基盤を整える

1 2 活動しやすく機能的な都市基盤・都市環境を整える  
2 市民がいきいき働く活力ある産業を育てる (産業振興)

基本目標 2 1 伝統がいきつく国際性豊かな観光地づくりを推進する

2 2 創意と工夫により農林水産業の持続的発展を図る  
2 3 地域特性を活かした商工業の振興を図る

3 市民一人ひとりの健康で生きがいを持った生活をささえる基本目標 3 1 高齢者や障がい者が自立し安心して暮らせる体制をつくる (保健福祉)

3 2 安心して出産し子育てができる環境をつくる

3 3 住みなれた地域で安心して暮らせる福祉環境を整える

- 3 4 市民みんなが健康で長生きできる暮らしを実現する
- 4 市民が地域文化を愛し、次代を担う心豊かな人材を育む

(教育文化)

- 基本目標 4 1 成田の個性を活かした国際交流・地域文化の発展を図る

- 4 2 子どもも大人もともに学び育つ教育を推進する
- 4 3 生涯を通して学びスポーツができる環境づくりを推進する

- 5 市民が安全、安心、快適に暮らせる生活環境をつくる

(生活環境)

- 基本目標 5 1 安全に暮らせる地域社会をつくる
- 5 2 空港と共生し安心して暮らせるまちづくりを推進する

- 5 3 市民が快適に暮らせる身近な生活環境を整える

- 6 市民と行政が協働する効率的な自治体運営を行う

(施策推進に向けて)

- 基本目標 6 1 みんなが参加する地域社会をつくる

- 6 2 市民本位の効率的な自治体運営を行う

### 総合計画策定経過

皆さんのご意見を取り入れて策定しました

平成16年8月  
市民意識調査を実施

平成16年11月～平成17年3月  
公募による「まちづくり市民会議」を5回開催

平成17年7月  
基本構想(素案)に対するパブリックコメントを実施

平成17年10月  
基本計画(素案)に対するパブリックコメントを実施

このように、皆さんのご意見を参考に進めてきました。パブリックコメント結果については、下記をご覧ください。

総合計画は、今年度中に基本構想と基本計画の策定を完了し、その後、市民の皆さんのお手元に概要書をお届けする予定となっております。

総合計画について、くわしくは  
企画課 ☎20 1500へ。

## 成田市総合計画に対するパブリックコメント結果の公表

成田市総合計画の基本構想(素案)および基本計画(素案)に対する意見募集(パブリックコメント)を行ったところ、多くのご意見などをお寄せいただきましたので、それらについて市の考え方も併せて公表します。

なお、全件につきましては、企画課ホームページ( <http://www.city.narita.chiba.jp/sosiki/kikaku> )、または企画課(市役所3階)、行政資料室(市役所1階)、各公民館、市立図書館、保健福祉館、三里塚コミュニティセンターなどに用意してある資料をご覧ください。郵送を希望される場合は企画課 ☎20-1500へご連絡ください。

寄せられた主なご意見	市の考え方
成田国際空港の一日も早い24時間化と2本目の滑走路を4,000mにすべきであると考えます。	成田国際空港は大規模な内陸空港であることから騒音などの環境問題に配慮されており、地域との約束もあり24時間運航することは困難であると考えております。また、平行滑走路につきましては、地域の皆さんのご理解とご協力をいただき、2,500mの早期完成に向け努力してまいります。
国際都市、観光地として、博物館とか日本を紹介する施設の建設を、あるいは今あるものの統合や総合化から手がけるべきであると考えます。	市では、交通アクセスの充実などを行い、民間による施設建設の誘導に努めたいと思います。また、歴史的観光資源と成田国際空港の連携を図り、国際交流や観光の充実にも努めたいと考えております。
特定の分野では、高齢者の人材としての活用など市民からの公募により、フォーラムなどの講師委託を検討してはいかかと考えます。	豊かな経験と知識を有する高齢者の活用の観点から、生涯学習とタイアップして、活用体制の整備を図りたいと考えております。
ごみ処理施設の余熱利用で温水プールを含む健康維持増進のための総合スポーツ施設を建設すべきであると考えます。	温水プールの建設は、新ごみ処理施設の余熱利用施設の選択肢の一つとして検討しております。また、健康維持増進施設につきましては、中台および大谷津運動公園などに各種施設を設置しております。
成田ニュータウン内は各種公園が多いので、犯罪・事故・火災などの予防が必要と考えます。	市では、防犯巡回指導員を組織し、日々パトロール活動を実施しております。ご意見のありました場所につきましても、適宜パトロールを実施しておりますが、さらに犯罪・事故の排除に努めたいと考えております。また、火災予防のための効果的な対策を講じてまいりたいと考えております。
事務事業評価に、廃止・終了・統合・縮小・維持・拡大の区分を設定、施策評価の試行、外部評価の試行、積極的な情報提供の推進、評価推進体制の構築について、明記すべきだと考えます。	基本構想では施策の大綱の6番目に、「市民と行政が協働する効率的な自治体運営を行う」と定め、基本目標に「みんなが参加する地域社会をつくる」と「市民本位の効率的な自治体運営を行う」の二つを設定しました。ご意見のありました五つの点につきましては、これらの基本目標を達成するために取り組んでいかなければならない施策と考えております。